

## 6m and down 2021 顛末記

JM1LZT 富山俊一

縁あって宇都宮大学のアマチュア無線部OB会による6m and down コンテストに JA1ZCX/1 としてエントリーしてから1年。今年も ZCX のみなさんと一緒に、猫の手として日光に行ってきました。昨年は全国2位を獲得でき、私としては上々の出来に思いましたが、そこは過去に何度も全国優勝を果たしている伝統のチーム。やはり目指すは1位です。標高1600mから見る「電波の景色」は、八王子の谷間の私の自宅とは別世界。否が応でもテンション上がりまくります♪

例によって天気が心配されましたが、案ずるより産むがやすし。土曜の朝9時に現地に着いてみると、雨どころか薄日が差し、設営作業中に汗ばむぐらいでした。どうやら「雲の上の人」なってみたいですね。今回も、私が助っ人に行かなければならないぐらい人手不足は深刻でしたが、みなさん手慣れた流れであっという間に設営完了。昨年と異なる点は、撤収の時間的制約があるため、50MHzは6エレ1本のみ(昨年は4エレをサブとして上げてました)としたことと、各PCのLAN接続を省略したことぐらいでした。

夕方にはすっかり準備も整い、気が付けばビールを片手に暫し談笑(^\_^) 昨年は十分に取れなかった開始前の仮眠もバッチリでした。

21時、戦闘開始。私は昨年に続き50MHzを一任され責任重大です。監督から出されたノルマ(目標)は昨年同様600QSO 40マルチ。いくら猫の手とはいえ、今年こそは目標達成をと気合が入ります。定石通りまずはSSBでCQから。最初の1時間は120QSO以上を目指していましたが、実際には102QSOに。その後日付が変わるちょっと前からCWにも出始め、とりあえずは順調に、QSO、マルチともに伸ばせま

した。昨年は2時過ぎに睡魔に襲われ深夜に2時間ほど空白を作ってしまったが、今年は仮眠もそれなりにとっていて、午前3時台に40分ぐらいの休憩をただけで済みました。

戦闘再開するとすぐに空が明るくなり始め、50MHz特有の伝搬への期待が高まります。基本的には1エリア狙いの南向けビームでやっていたのですが、北や西にもアンテナを振り、マルチ獲得に励みました。午前8時台には短時間ではあるものの北海道や九州方面が聞こえ始め、前は全く出来なかった6、8エリアのマルチをいくつかゲット。

マルチと言えば、実は今回からひとつ「新兵器」を導入しました。以前久保田さんも紹介されていたRBN＝リバースビーネットワークです。私の常日頃の反省点として「局数のわりにマルチが少ない」ということがあります。地道なマルチ探しが下手な私にとって、各地からリアルタイムで寄せられる「今聞こえてる局」の情報は、大変な福音です。実際にはスマホでRBN そのものを見ながら、コンテスト用ログインソフト ctestwin の telnet 機能を使いRBN 情報を表示させるという2本立てでやってみました。本来なら telnet だけで十分なはずですが、PC の処理能力の不足かネットの回線スピードのせい、どうしても telnet の方が遅れ気味なための措置です。使い勝手としては当然 telnet の方が断然良く、周波数リストに表示されている局が交信済みかどうか一目で分かる上、そこをクリックすれば一発でその局のいるところへ QSY してくれ即交信が出来るといった感じです。どうして今まで使ってこなかったのか、反省しかありません。わずかとはいえ、昨年よりマルチを伸ばすことができたのは、この新兵器によるところが大きかったかもしれません。

日曜の午後は毎度のことですが「やれるところはやりつくした」状況になり、睡魔との闘いも含め忍耐の時間帯です。そんな中、目が覚めたのは JH4UYB との2度にわたる「接近遭遇」。4エリアなんて何も聞こえてないCWを聞いていると、519ぐらいでCQが。もう必死でコールしちゃいました。最初はほとんど気づいてもらえずフェードアウトでしたが、しばらくして2度目にコールした時は「JA1Z？」まで返ってきて、

もう必死にコールしたのは言うまでもありません。「生ける伝説」とも言えるスーパーコンテスターの抜群の耳をしても、こちらの弱々しい信号を完全には確認してもらえず残念ではありましたが、励みになったことはモチロンです。

また、終了 1 時間ぐらい前になり、全然呼ばれずヒマになり、20 時間ぶりにスマホのメールをチェックしたところ、なんと久保田さんから日曜朝にメールを頂いていたのを発見。どこに出てるか、援助のための問い合わせでした。本当にありがたいことです。もちろん慌ててお返事し、直後に交信していただきました。本当にありがとうございました。さらに、池さん、斎藤さんにも探していただいようで、ありがとうございました。

15 時、終戦です。撤収時間の制約の関係で、50MHz 以外は 14 時間ぐらいから撤収作業を始めていましたが、私だけ最後までやらせてもらっちゃいました。結局暫定値で 570QSO 25 マルチ。何とか前回の数字を上回ることは出来ました。今回もマルチオペではありましたが、密かに「もし個人参加したら何位になってたか」を考えながらの 18 時間でした。現時点で集まっている情報によると、もし個人参加してても残念ながら既に 2 位以下が確定しちゃってます^^;

最後になりますが、2 年連続で猫の手参加のチャンスを与えてくださった JA1ZCX のみなさん、本当にありがとうございました。どれだけ貢献できたかは甚だ疑問ではありますが、私自身は、またもや大いに学び、楽しませていただいちゃいました。

またいつか(^\_^)v

